



## 2. 寄せられた意見

※南中=白銀南中、鷗小=白鷗小、南小=白銀南小

区分	意見照会		地域意見交換会																				
	結果	記述意見(主なもの)	当日意見・会場アンケート(当)																				
1.通学区域	<table border="1"> <tr><th colspan="2">見直すべき</th></tr> <tr><td>南中</td><td>2/13</td></tr> <tr><td>鷗小</td><td>4/14</td></tr> <tr><td>南小</td><td>1/13</td></tr> </table>	見直すべき		南中	2/13	鷗小	4/14	南小	1/13	①小学校と中学校の通学区域が異なるため見直しが必要である。(南中) ②岬台団地の子どもは白銀南中学区となるため白銀南小学校に行ったほうがよい。(鷗小・南小)	当 ①岬台はどの学校がよいということではなく、小学校と中学校で別れないようにしてほしい。 当 ②岬台地区を白銀南小の学区に変えると、白銀地区内の5つの小中学校の人数のバランスが崩れるのでこのままがよい。 当 ③町内で見ると、岬台・白銀台・大久保の3つは結びつきがととも強い。												
見直すべき																							
南中	2/13																						
鷗小	4/14																						
南小	1/13																						
2.通学路	<table border="1"> <tr><th colspan="2">注意が必要</th></tr> <tr><td>南中</td><td>7/13</td></tr> <tr><td>鷗小</td><td>4/14</td></tr> <tr><td>南小</td><td>3/13</td></tr> </table>	注意が必要		南中	7/13	鷗小	4/14	南小	3/13	①北高前は朝夕の交通量が多く危険である。(南中) ②栗沢道等は道路が狭く自動車との接触が心配である。(鷗小) ③南書店から中学校までの間、大久保、ホテルの里周辺は通学の安全に問題がある。(南中)	当 ①大久保地区は古いまちでもあり、ほとんどの通学路に歩道がないのが悩みである。												
注意が必要																							
南中	7/13																						
鷗小	4/14																						
南小	3/13																						
3.学校規模 過大:大きすぎる や大:やや大きい 適正:適正である や小:やや小さい 過小:小さすぎる	<table border="1"> <tr><th></th><th>や大</th><th>適正</th><th>や小</th><th>過小</th></tr> <tr><td>南中</td><td></td><td>11</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>鷗小</td><td></td><td>11</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>南小</td><td>1</td><td>12</td><td></td><td></td></tr> </table>		や大	適正	や小	過小	南中		11	2		鷗小		11	1	1	南小	1	12			①や大) PTA 活動も人任せになってしまい、選出が大変である。(南小) ②や小) 人数が少ないため規制があり、いろいろなことに挑戦できない。(南中)	
	や大	適正	や小	過小																			
南中		11	2																				
鷗小		11	1	1																			
南小	1	12																					
4.部活動	<table border="1"> <tr><th colspan="2">見直すべき</th></tr> <tr><td>南中</td><td>6/13</td></tr> <tr><td>鷗小</td><td>7/14</td></tr> <tr><td>南小</td><td>1/13</td></tr> </table>	見直すべき		南中	6/13	鷗小	7/14	南小	1/13	①全員加入制から任意加入制にすべきである。(南中) ②部活動は教員の大きな負担となっている。(鷗小) ③中学校にあるのに小学校にサッカー部がないのはおかしい。(鷗小) ④部活動の数が少ない。(南小)	当 ①部活動は任意加入とすべきではないか。												
見直すべき																							
南中	6/13																						
鷗小	7/14																						
南小	1/13																						
5.適正配置 全般	①学力や部活動面で小規模校と大規模校の差が出てくる。中学校の統廃合があっても仕方がない。(南中) ②学校統廃合については、特に小学校低学年の通学距離、通学時間等、防犯・交通安全面を考慮してほしい。(鷗小)	当 ①少子化の現在、学区の見直しや統廃合もやむを得ない。																					
6.その他																							

## 3. 論点の整理

学校	論点	備考
白銀南中	意 ①2つの小学校から入学する。	・白銀南小及び白鷗小の一部(岬台地区)から入学してくる。 ・岬台地区の生徒のうち、約2割は学区外で白銀中へ通っている。
白鷗小	意 ①中学校が分かれる。 他 ②児童数の減少が進んでいる。	・学区のうち岬台地区(142/476)は白銀南中学校、それ以外は白銀中学校が指定校である。 ※カッコ内は(地域児童数/全校児童数)である。 ・6年後(平成27年)321人となり、6年前(平成15年)の半分以下になる。
白銀南小	他 ①児童数の減少が見込まれている。	・現状では、6年後には児童数で172人、学級数で6学級の減少が見込まれている。

(意:寄せられた意見から導出したもの、他:その他、教育委員会で把握しているもの)